令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	国語	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	言語文化	3	105時間

対象学年組　第2学年全組

使用教科書　数研出版「高等学校　言語文化」

科目：「言語文化」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとする。
評価方法	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト 提出物 グループワーク 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価基準（おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	6	中間	【単元名】 古文の世界を楽しむ1 【目標】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの相違を意識して、説話の解釈と鑑賞を試みる。	・指導事項 言語文化と古文について意識させる。 ・教材 「児のそら寝」「検非違使忠明」の解釈と鑑賞	○	○	○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。
1	単元2	12	中間	【単元名】 古文の世界を楽しむ2 【目標】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。積極的に古語と現代語の違いについて考察し、取り組もうとしている。	・指導事項 古文の世界に親しみを持たせる。 ・教材 『竹取物語』「なよ竹のかぐや姫」の解釈と鑑賞	○	○	○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 『竹取物語』の派生作品について積極的に調べ、学習課題に沿って発表に取り組もうとしている。
1	単元3	10	期末	【単元名】 漢文の世界を楽しむ1「日本語の中に生きる漢文」 【目標】 我が国の言語文化の基礎となった中国の文化や歴史について学び、外国語である漢文を日本語に直して読む訓読について理解する。私たちが使う日本語における漢文の影響などを、故事成語などをもとに考える。	・指導事項 漢文の基本的な訓読方法を学び、繰り返しプリント学習を通して理解する。 ・教材 「入門一」（訓読の基礎）「入門二」（再読文字・助字・置き字等）	○	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代生活の中に活きている漢文に由来する名称などをグループで話し合って、自分の考えを説明しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域			評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						話・聞	書	読	
1	単元4	11	期末	【単元名】 漢文の世界を楽しむ2「故事と成語」 【目標】 我が国の言語文化の基礎となった中国の文化や歴史について学び、外国語である漢文を日本語に直して読む訓読について理解する。私たちが使う日本語における漢文の影響などを、故事成語などをもとに考える。	・指導事項 漢文訓読の基礎を教える。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・教材 『故事と成語』「漁夫之利」「矛盾」「狐借虎威」「朝三暮四」	○	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 故事成語の用例を「国語便覧」を利用して発表する。漢文訓読の基礎を課題プリントで粘り強く学んでいる。
2	単元5	9	中間	【単元名】 現代にも生きる教え 【目標】 古文の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	・指導事項 積極的に『徒然草』と自分との接点を探し、現代人と中世の人の生き方、考え方を理解する。 ・教材 『徒然草』「つれづれなるままに」「神無月のころ」「ある人、弓射ることを習ふに」「丹波に出雲といふ所あり」	○	○	○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を生かして構成を整理しようとしている。
2	単元6	9	中間	【単元名】 和歌による心の交流 【目標】 古文の世界を楽しむために、プリントに記された言葉の意味や文法的事項などを理解している。登場人物についてその人物像を的確にとたえ、物語の展開を楽しむ。	・指導事項 物語と和歌の融合（歌物語）の意味を考えながら、古文の文体の美しさを理解する。古文特有語また古今異義語について調べて理解する。 ・教材 『伊勢物語』「芥川」「東下り」「筒井筒」	○	○	○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く『伊勢物語』と『今昔物語集』の違いを抽出し、学習課題に沿って文章表現についての話し合いに参加しようとしている。
2	単元7	10	期末	【単元名】 漢詩のことば 【目標】 漢文訓読調の日本語表現が「改まった印象」をもたらす理由について理解している。漢詩特有の表現を学び、詩の解釈と鑑賞を試みる。	・指導事項 漢詩についての基礎知識を「形式」「文体」「押韻」等の視点から整理し、理解する。漢詩独特の訓読法を理解した上で解釈と鑑賞を試みる。 ・教材 「登鸛鵲楼」「静夜思」「山中問答」「涼州詞」「送元二使安西」「山行」「月夜」「登高」「紅のうつろい」	○	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる課題において、粘り強く調べ学習に取り組んでいる。
2	単元8	11	期末	【単元名】 論語とその注釈 【目標】 漢文読解の基礎を使って、古代中国の思想家である孔子の言行や弟子との問答をまとめた『論語』の解釈と鑑賞を試みる。	・指導事項 孔子の生き方や、人との関わり方を学びながら、その教えを記録した『論語』の解釈と鑑賞を試みる。 ・教材 『論語』（1～12）本文の訓読	○	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 孔子とその弟子たちの人生また時代背景等について、国語便覧で粘り強く整理し理解する。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域			評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
						話・聞	書	読	
3	単元9	8	期末	【単元名】 受け継がれる古文 【目標】 今昔物語集の原典と比較しながら近代小説としての『羅生門』の意味を理解する。	・指導事項 小説の解釈と鑑賞について理解する。読者に任されたテーマの読み取りを話し合わせる。 ・教材 『羅生門』	○	○	○	【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。作品の成立した背景や作者の意図を調べながら作品を鑑賞する。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。この作品のテーマについて話し合い、理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。積極的に改稿前と後の文章の印象の違いを捉えている。
3	単元10	6	期末	【単元名】 詩歌の系譜 【目標】 それぞれの読者に任された現代詩の解釈と鑑賞について理解する。	・指導事項 現代詩を理解するための基礎知識を学んだうえで、二つの詩の解釈と鑑賞を試みる。 ・教材 「サーカス」「I was born」	○	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語文化に特徴的な語句が持つ文化的背景を積極的に調べ、進んで作品内容を解釈また鑑賞しようとしている。
3	単元11	7	期末	【単元名】 受け継がれる漢文 【目標】 文中に描かれる漢詩から登場人物袁傪の心理を読み取り、近代小説としての『山月記』の意味を理解する。	・指導事項 小説の解釈と鑑賞について理解する。読者に任されたテーマの読み取りを話し合わせる。 ・教材 『山月記』	○	○	○	【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。漢文の訓読方法を確認する。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に袁傪が登場することの効果について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。
3	単元12	6	期末	【単元名】 詩歌の系譜 【目標】 それぞれの読者に任された短歌の解釈と鑑賞について理解する。	・指導事項 短歌の解釈と鑑賞について理解する。読者に任されたテーマの読み取りを話し合わせる。 ・教材 「短歌」（教科書掲載の16首）	○	○	○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情景や心情の描写を読み取り、短歌の解釈と鑑賞に取り組もうとしている。

令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	地歴公民科	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	公共	2	70時間

対象学年組　第2学年　1組、　2組、　3組、　4組、　5組

使用教科書　東京書籍　公共

科目：「公共」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、政治・経済・法的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現できる。	よりよい社会の実現に向けて、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に追究し解決しようとする。
評価方法	定期テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	10	中間	【単元名】 公共的な空間をつくる私たち 【目標】 指導事項に関連する学習を通して、公共的な空間をつくる私たちの在り方や生き方について考察する。	・青年期の特徴と発達課題，及び個人・社会・伝統と文化の視点から人間の在り方、現代の諸課題について判断し選択する際の考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理、公共的な空間における基本的原理である，民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 青年期の特徴と発達課題，及び個人・社会・伝統と文化の視点から人間の在り方、現代の諸課題について判断し選択する際の考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理、公共的な空間における基本的原理である，民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 【思考・判断・表現】 指導事項の学習を通して、人間の在り方や社会参画の視点について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導事項の学習を通して、人間の在り方や社会参画の視点について、自分自身の課題として捉え、主体的に追究している。
1	単元2	16	期末	【単元名】 自立した主体として社会に参画する私たち（経済分野） 【目標】 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して指導事項の事項を身に付けることができるようにする。	・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能ち限界、金融の働き ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能ち限界、金融の働き、について理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元3	16	期末	【単元名】 自立した主体として社会に参画する私たち（政治分野） 【目標】 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して指導事項の事項を身に付けることができるようにする。	・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割など ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
2	単元4	16	期末	【単元名】 自立した主体として社会に参画する私たち（法分野） 【目標】 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して指導事項の事項を身に付けることができるようにする。	・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【知識・技能】 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や事由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した経済主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠を持って表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
3	単元5	12	学年末	【単元名】 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【目標】 持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・探究学習 ・教材 ・一人1台端末の活用　等						【思考・判断・表現】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に務馬手事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	数学	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	数学Ⅱ	3	105時間

対象学年組　第2学年　1組、2組、3組、4組、5組

使用教科書　新編 数学Ⅱ（数研出版）

科目：「数学Ⅱ」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	いろいろな式，図形と方程式，及び微分・積分等の考えについて基本的な概念等を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。	方程式を用いて図形を簡潔に表現したり，図形の性質を論理的に考察する力や関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程統合的・発展的に考察したりする力等を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価方法	定期テスト 小テスト	定期テスト 小テスト	定期テスト 小テスト 授業ノート 問題集ノート 振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	17	中間	【単元名】 第2章 複素数と方程式 第1節　複素数と2次方程式の解 第2節　高次方程式 【目標】 方程式についての理解を深め，数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。	1．複素数とその演算 2．2次方程式の解 3．解と係数の関係 4．剰余の定理と因数定理 5．高次方程式						【知識・技能】 複素数の四則計算ができる。 2次方程式の解の公式を利用して，2次方程式を解くことができる。 解と係数の関係を使って，2次方程式の解の和と積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 複素数の表記を理解し，複素数a+0iを実数aと同一視できる。 2次方程式の解について，実際に解を求めずに，判別式で解の種類を判別することができることを理解している。 2次方程式の解に関する種々の問題を，解と係数の関係を利用して考察しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し，考察しようとする。 2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し，2次方程式の解を考察しようとする。 2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち，問題に取り組もうとする。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元2	13	期末	【単元名】 第3章 図形と方程式 第1節　点と直線 【目標】 座標や式を用いて，直線の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	1．直線上の点 2．平面上の点 3．直線の方程式 4．2直線の関係						【知識・技能】 数直線上において，2点間の距離を求めることができる。 座標平面上において，2点間の距離を求めることができる。 与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 2直線の平行条件を理解していて，それを利用できる。 【思考・判断・表現】 点の座標を求めるのに，図形の性質を適切に利用できる。 1点を通る直線の方程式から，異なる2点を通る直線の方程式に拡張して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数直線上の点に関する公式を利用して，平面上の問題を考察しようとする。 公式を利用して，直線の方程式を求めようとする。 2直線の平行・垂直の関係を，直線の傾きに着目して考察しようとする。
2	単元3	16	中間	【単元名】 第3章 図形と方程式 第2節　円 【目標】 座標や式を用いて，円の性質や関係を数学的に表現し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	5．円の方程式 6．円と直線 7．2つの円 8．軌跡と方程式 9．不等式の表す領域						【知識・技能】 与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 円と直線の共有点の座標を求めることができる。 【思考・判断・表現】 円の方程式がx，yの2次方程式で表されることを理解している。 円と直線の共有点の個数を，2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 与えられた方程式が表す図形に興味・関心をもつ。 円と直線の位置関係を，2次方程式の判別式や，円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。
2	単元4	19	中間・期末	【単元名】 第5章 指数関数と対数関数 【目標】 指数関数，対数関数について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	1．指数の拡張 2．指数関数 3．対数とその性質 4．対数関数 5．常用対数						【知識・技能】 指数が整数の場合の累乗の定義を理解し，累乗の計算や，指数法則を用いた計算をすることができる。 指数と対数とを相互に書き換えることができる。 【思考・判断・表現】 指数が0や負の整数の場合も正の整数の場合と同様の指数法則が成り立つことを理解している。 対数log_aMがM=p^aを満たす指数pを表していることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 指数の範囲を正の整数から0や負の整数に拡張する過程に関心をもち，どのように定義すればよいかと調べようとする。 指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2･3	単元5	24	期末・学年末	【単元名】 第6章 微分法と積分法 第1節　微分法 【目標】 微分係数や導関数の意味について理解し，それらの有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	1．微分係数 2．導関数とその計算 3．接線の方程式 4．関数の増減と極大・極小 5．関数の増減・グラフの応用						【知識・技能】 平均変化率の定義を理解し，それを求めることができる。 定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。 導関数の性質を利用して，種々の導関数の計算ができる。 接線の方程式の公式を利用して，接線の方程式を求めることができる。 導関数を利用して，関数の増減を調べることができる。 関数の極値を調べるのに，増減表を書いて考察している。 導関数を利用して，関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 関数の極限値を直感的に理解し，それを求めることができる。 導関数を表す種々の記号を理解していて，それらを適切に使って表現することができる。 微分係数の図形的な意味と，直線の方程式の公式から，接線の方程式の公式を考察することができる。 関数の増減を接線の傾きから考察することができる。 関数の極値から関数を決定する際に，必要十分条件に注意して考察することができる。 最大値・最小値と極大値・極小値の違いを，明確に意識して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式を求めようとする。 関数の増減を導関数を用いて調べようとする。 関数の極値を導関数を用いて調べようとする。 身近にある最大値・最小値の問題を，微分法を利用して解決しようとする。
3	単元6	16	学年末	【単元名】 第6章 微分法と積分法 第2節　積分法 【目標】 積分の考えについて理解し，それらの有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	9．不定積分 10．定積分 11．定積分と面積						【知識・技能】 不定積分の計算では，積分定数を書き漏らさずに示すことができる。 定積分の定義を理解し，それを利用する定積分の計算方法を理解している。 定積分の公式や性質を理解し，それを利用する定積分の計算方法を理解している。 直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる。 【思考・判断・表現】 微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 上端がxである定積分を，xの関数とみなすことができる。 面積を求める際には，グラフの上下関係，積分範囲などを，図をかいて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積分法が微分法の逆演算であることから，不定積分を求めようとする。 面積が定積分で表されることに興味・関心をもち，考察しようとする。

令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	数学	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	数学A	3	105時間

対象学年組　第2学年　1組、2組、3組、4組、5組

使用教科書　新編 数学Ⅱ（数研出版）

科目：「数学A」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を蓄積し、学習や生活に生かすことができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとし、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養おうとする。
評価方法	定期テスト 小テスト	定期テスト 小テスト	定期テスト 小テスト 授業ノート 問題集ノート 振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	40	中間・期末	【単元名】 場合の数・確率 【目標】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。また、確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	【指導項目・内容】 集合 集合の要素の個数 樹形図，和の法則，積の法則 順列 円順列と重複順列 組合せ 確率の意味 確率の計算 確率の基本性質 和事象の確率 余事象の確率 独立な試行の確率 反復試行の確率 条件付き確率 期待値					【知識・技能】 共通部分，和集合，補集合を求めることができる。 要素を書き並べて表して，集合の要素の個数を求められる。 和集合.補集合.の要素の個数の公式を用いることができる。 日常的な事象に対して集合を考え，人数などを求められる。 樹形図や和の法則，積の法則を用いることができる。 順列の用語，記号，公式を理解し，利用できる。 具体的な問題を通じて，どのような場合に順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。 円順列・重複順列の用語，公式を理解し，利用できる。 組合せの用語，記号，公式を理解し，利用できる。 同じものを含む順列の総数を求めることができる。 確率の定義に基づき，事象の確率を求めることができる。 積事象，和事象の意味を理解し，具体的な事象に対して，積事象，和事象を集合で表すことができる。 事象の排反の意味を理解し，排反であるかを判断できる。 余事象の確率の公式を利用して，確率を求めることができる。 独立な試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 反復試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 条件付き確率の定義，意味を理解し、求められる。 期待値の定義を理解し，求めることができる。 【思考・判断・表現】 ベン図を利用して集合を図示することで，要素の個数を考察することができる。 自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。 具体的な問題を通じて，どのような場合に円順列，重複順列の考え方が適用できるかを見極めることができる。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
											順列の総数をもとにして，組合せの総数を考察することができる。 特殊な条件が付く組合せを，見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 同じものを含む順列を，組合せで考察することができる。 試行の結果を事象としてとらえ，事象を既知の集合と結びつけて考えることができる。 補集合をもとに，余事象を考察することができる。 2つの独立な試行を行うとき，その結果として起こる事象の確率について考察することができる。 反復試行の確率を，直観的に考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合を考えることで，日常的な事柄などを，集合の要素の個数として数学的に数えようとする。 正の約数の個数、順列，円順列，重複順列に興味・関心をもつ。 組合せの考え方を利用して，図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。 具体的事象について，反復試行の確率を，興味をもって調べようとする。
2	単元2	40	中間・期末	【単元名】 三角形の性質・円の性質・作図・空間図形 【目標】 三角形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。また、円の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。 作図についての理解を深め，作図の各過程において平面図形のどの性質を用いているかを考察できるようにする。 空間図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。	【指導項目・内容】 角の二等分線と比 三角形の外心，内心，重心 チェバの定理・メネラウスの定理 円周角の定理 円に内接する四角形 円と接線 接線と弦の作る角 方べきの定理 2つの円 基本の作図 いろいろな作図，研究 空間における直線と平面 多面体						【知識・技能】 線分の内分と外分を理解し，点を図示することができる。 三角形の内角・外角の二等分線と比の性質を用いて，線分の長さを求めることができる。 外心・内心・重心の性質を用いて，具体的な問題を処理できる。 三角形の面積と線分の比の性質を理解している。 チェバ・メネラウスの定理を用いて，線分比を求めることができる。 円周角の定理を用いて，角の大きさを求めることができる。 円周角の定理の逆を用いて，4点が同一円周上にあることを調べることができる。 円に内接する四角形の性質を用いて，角の大きさを求められる。 円の接線の性質を用いて，辺や線分の長さを求められる。 接線と弦の作る角の定理を利用して，角の大きさを求められる。 方べきの定理を用いて，線分の長さを求めることができる。 垂線を引く，垂直二等分線を引く，角の二等分線を引く，平行線を引くなどの基本的な作図を行うことができる。 円周角の定理を利用して，円の外部の点を通る円の接線を作図することができる。 平行線と比の性質を利用して，線分を内分する点を作図できる。 2平面のなす角を理解し，問題を処理することができる。 5種類の正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
											【思考・判断・表現】 証明する際に，適当な補助線を引いて考察することができる。 チェバの定理，メネラウスの定理について，論理的に考察し，証明することができる。 三角形の辺と角の大小関係や，三角形の存在条件を理解する。 三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し，円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。 円と直線の位置関係に3つの場合があることを理解している。 接線と弦の作る角についての定理の証明方法を理解する。 方べきの定理の証明方法を理解する。 2円の位置関係を，動的な面から観察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形の3辺の垂直二等分線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。 三角形の3つの角の二等分線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。 三角形の3本の中線が1点で交わることの証明方法に関心をもつ。 身近な問題に対し，チェバの定理を活用できることを理解し，図形の性質に興味・関心をもつ。 正多面体が5種類である理由に関心をもち，その理由を調べようとする。
3	単元3	25	中間・期末	【単元名】 約数と倍数・1次不定方程式・記数法・座標の考え方・ゲーム・パズルの中の数学 【目標】 さまざまな人間の活動の中から，整数を中心とした数学的な要素を見出し，数学の内容の理解を深めると同時に，現実の事象を，数学を用いて考察できるような力を培う。	【指導項目・内容】 約数と倍数 素数と素因数分解 整数の割り算 最大公約数 ユークリッドの互除法 1次不定方程式 古代の記数法 現代の記数法 平面上の点の位置 空間上の点の位置 ゲームの中の数学 パズルの中の数学						【知識・技能】 約数・倍数の意味を理解している。 自然数の素因数分解を求めることができる。 整数 a を正の整数 b で割る割り算を，a と b の間に成り立つ等式として捉えることができる。 カレンダーの曜日の規則と整数の割り算の関係を理解し，問題を処理することができる。 公約数，最大公約数の意味を理解し，それらを求められる。 素因数分解を利用して最大公約数を求める方法を理解している。また，互いに素の意味を理解し，2つの整数が互い素であるかどうか判定できる。 互除法の原理を理解し，互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 1次不定方程式の特殊解を求め，それによりすべての整数解を求めることができる。 記数法，10進法，2進法，n 進法について理解している。 n 進法の整数を10進法で，10進法の整数をn 進法で表すことができる。 地上における特定の地点を，座標平面上の点と捉えて位置を座標で表現できる。 平面上の点における考え方を座標空間の点まで広げて考えることができる。 魔方陣の構造を理解し，魔方陣を完成できる。 魔方陣の構造を考察し，成り立つと推察される性質について実際に成り立つことを証明できる。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容					評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
										【思考・判断・表現】 問題解決の過程を振り返って，割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 現代の記数法を古代の記数法と比較し，特徴を理解している。 平面上の点の位置を特定するために，条件から図形の性質に着目し，適切な定理を利用して考察することができる。 ゲームの設定を論理的に考察することができる。 パズルの仕組みを論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に，約数と倍数の考えを活用しようとする。 暗号技術に素因数分解の考えが活用されていることに興味・関心をもつ。 カレンダーの話題を通じて，日常に関連した法則や規則を数学を用いてとらえることに興味・関心をもつ。 互除法の原理の証明に興味・関心をもつ。 互除法の計算を逆にたどることにより，1次不定方程式の整数解の1つを必ず見つけられる優秀性に関心をもつ。 コンピュータなどの身近な物に，n 進法の考え方が活用されていることに興味・関心をもつ。

令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	理科	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	生物基礎	3	105時間

対象学年組　第2学年　1組、　2組、　3組、　4組、　5組

使用教科書　啓林館　高等学校　生物基礎

科目：「生物基礎」の目標、評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	生物に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物に関する事物・現象から問題を見出し、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	15	中間	【単元名】 生物の共通性と多様性 【目標】 ㋐生物の特徴について、生物の共通性と多様性のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ㋑生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、生物の共通性と多様性を見いだして表現する。 ㋒生物の共通性と多様性に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査						【知識・技能】 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
1	単元2	13	期末	【単元名】 生物とエネルギー 【目標】 ㋐生物の特徴について、生物とエネルギーのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ㋑生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、生物とエネルギーを見いだして表現する。 ㋒生物とエネルギーに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査						【知識・技能】 生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物とエネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物とエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元3	13	中間	【単元名】 遺伝子とその働き 【目標】 ㋐遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ㋑遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。 ㋒遺伝子とそのはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査						【知識・技能】 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報とDNAについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2	単元4	10	中間・期末	【単元名】 遺伝情報とタンパク質の合成 【目標】 ㋐遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ㋑遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とタンパク質の合成との関係を見いだして表現する。 ㋒遺伝情報とタンパク質合成に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査						【知識・技能】 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報とタンパク質の合成について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2	単元5	15	期末	【単元名】 ヒトの体の調節 【目標】 ㋐神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ㋑神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして表現する。 ㋒情報の伝達に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査						【知識・技能】 神経系と内分泌系による調節ににについて、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の伝達に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元6	12	期末	【単元名】 免疫の働き 【目標】 ㋐免疫について、免疫のはたらきのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ㋑免疫について、観察、実験などを通して探究し、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして表現する。 ㋒免疫のはたらきに関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査						【知識・技能】 免疫について、免疫のはたらきの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 免疫のはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
3	単元7	13	学年末	【単元名】 植生と遷移 【目標】 ㋐植生と遷移について、植生と遷移のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ㋑植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、遷移の要因を見いだして表現する。 ㋒植生と遷移に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査						【知識・技能】 植生と遷移について、植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植生と遷移について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植生と遷移に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
3	単元8	14	学年末	【単元名】 生物の多様性と生態系 【目標】 ㋐生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ㋑生態系とその保全について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物の種多様性を見いだすとともに、生態系のバランスと保全について表現する。 ㋒生態系とその保全に関する事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・講義 ・実験 ・レポート ・定期考査						【知識・技能】 生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	保健体育	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	体育	2	70時間

対象学年組　第2学年1組、2組、3組、5組男子

使用教科書　現代高等学校保健体育

科目：「体育」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価方法	観察（技能など） テスト レポート ワークシート	観察（学習、ペア・グループ活動など） テスト レポート ワークシート 振り返り	観察（学習、ペア・グループ活動など） 生徒による自己評価や相互評価

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	2	中間・期末	【単元名】 体育理論・オリエンテーション 【目標】 運動時のルールや行い方の理解を深め、運動を他者と協働的に行うために自らの役割を果たせるようにする。	・授業オリエンテーション ・教材、1台端末の活用方法 ・各種目実施上の留意点						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元2	8	中間・期末	【単元名】 スポーツテスト 【目標】 自分の体力の現状を把握し、自ら課題を設定し、基礎体力の向上をねらう。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元3	10	中間・期末	【単元名】 陸上競技・ダンス・体育祭種目練習 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元4	12	中間・期末	【単元名】 水泳 【目標】 安全な入水方法を学び事故の防止の意識を高める。 クロールと平泳ぎの技能の習得	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元5	10	中間・期末	【単元名】 バスケットボール 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元6	10	中間・期末	【単元名】 ソフトボール 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元7	10	中間・期末	【単元名】 アルティメット 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元8	8	中間・期末	【単元名】 持久走 【目標】 長い距離を走りきることで、精神力と持久力を高め、基礎体力の向上を目標とする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	保健体育	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	体育	2	70時間

対象学年組　第1学年1組、2組、3組、4組、5組女子

使用教科書　現代高等学校保健体育

科目：「体育」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
評価方法	観察（技能など） テスト レポート ワークシート	観察（学習、ペア・グループ活動など） テスト レポート ワークシート 振り返り	観察（学習、ペア・グループ活動など） 生徒による自己評価や相互評価

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	2	中間・期末	【単元名】 体育理論・オリエンテーション 【目標】 運動時のルールや行い方の理解を深め、運動を他者と協働的に行うために自らの役割を果たせるようにする。	・授業オリエンテーション ・教材、1台端末の活用方法 ・各種目実施上の留意点						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元2	8	中間・期末	【単元名】 スポーツテスト 【目標】 自分の体力の現状を把握し、自ら課題を設定し、基礎体力の向上をねらう。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
1	単元3	8	中間・期末	【単元名】 陸上競技・体育祭種目練習 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元4	12	中間・期末	【単元名】 水泳 【目標】 安全な入水方法を学び事故の防止の意識を高める。 クロールと平泳ぎの技能の習得	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元5	12	中間・期末	【単元名】 ソフトボール 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
2	単元6	12	中間・期末	【単元名】 バスケットボール 【目標】 ルールや技能の理解を深め、基本的な技能の習得と集団における自らの役割を果たせるようにする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。
3	単元7	16	中間・期末	【単元名】 持久走 【目標】 長い距離を走りきることで、精神力と持久力を高め、基礎体力の向上を目標とする。	・ルールや競技特性 ・基本的な個人技能 ・基本的な集団技能						【知識・技能】 ルールや競技特性を理解している。 技能習得に向け継続的な努力を実施している。 集団に対して貢献する姿勢 【思考・判断・表現】 技能習得に対し自ら工夫をしている。 基礎体力向上に向け、課題を設定できる。 客観的に自分を判断し、目標を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ”ねばり強い”気持ちを持ち、精神力・持久力を高めようとしている。 集団の中の自分を分析し課題を設定し取り組んでいる。

令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	保健体育	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	保健	1	35時間

対象学年組　第2学年　1組～4組

使用教科書　現代高等学校保健体育

科目：「保健」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	・健康について理解する。 ・健康の保持増進為に適切な日常生活を過ごすことができる。 ・集団の健康に関して自らの役割の重要性に気付く。	・望ましいライフスタイルを立案することができる。 ・正しい知識を蓄積することができる。 ・自己の健康状態を分析している。 ・知識を学習や生活に生かすことができる。	・他者を尊重しようとする。 ・集団討論により協働的に課題を解決しようとする。 ・健全な健康社会に貢献しようとする。
評価方法	定期テスト 小テスト レポート ワークシート	定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況，討論・発表など） 学習の振り返り	ワークシート 観察（学習状況，討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	2	期末	【単元名】 事故の現状と発生要因 【目標】 ・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。	・事故とその被害 ・事故の発生に関連する要因						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
1	単元2	2	期末	【単元名】 安全な社会の形成 【目標】 ・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。	・自他の安全を確保する行動 ・安全を確保する社会の取り組み						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
1	単元3	2	期末	【単元名】 交通における安全 【目標】 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。	・交通事故防止のための取組 ・交通事故と運転者の責任						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元4	2	期末	【単元名】 応急手当の意義とその基本 【目標】 ・応急手当の意義について説明できる。 ・傷病者を発見したときに，確認・観察するポイントをあげることができる。	・応急手当の意義 ・応急手当の手順						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元5	2	期末	【単元名】 日常的な応急手当 【目標】 ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 ・実際に，日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。	・けがに応じた応急手当 ・熱中症の応急手当						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元6	2	期末	【単元名】 心配蘇生法 【目標】 ・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。 ・実際に，心肺蘇生法をおこなうことができる。	心配蘇生法の意義と方法						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元7	2	期末	【単元名】 ライフステージと健康 【目標】 ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	・ライフステージと死亡や病気 ・各ライフステージにおける健康課題とその支援						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元8	2	期末	【単元名】 思春期と健康 【目標】 ・思春期における体の変化を，女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。	・思春期の体と健康 ・思春期の心と健康						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元9	2	期末	【単元名】 性意識と性行動の選択 【目標】 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	・性意識とその尊重 ・性に関する情報と性行動						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元10	2	期末	【単元名】 妊娠・出産と健康 【目標】 ・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	・受精、妊娠、出産 ・母子保健サービスの活用						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元11	2	期末	【単元名】 避妊法と人工妊娠中絶 【目標】 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	・家族計画の意義と避妊法 ・人工妊娠中絶						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元12	1	期末	【単元名】 結婚生活と健康 【目標】 ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	・結婚生活の基盤となる心身の発達 ・結婚生活と家族の健康						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元13	1	期末	【単元名】 中高年期と健康 【目標】 ・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	・加齢による変化と健康 ・高齢者の健康を支える取り組み						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元14	1	期末	【単元名】 働くことと健康 【目標】 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	・働くことと健康の関わり ・働き方と健康問題の変化						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元15	1	期末	【単元名】 労働災害と健康 【目標】 ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	・労働災害とその要因 ・労働災害の防止						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
2	単元16	1	期末	【単元名】 健康的な職業生活 【目標】 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	・職場における取り組み ・仕事と生活の調和						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
3	単元17	2	期末	【単元名】 大気汚染と健康 【目標】 ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。	・大気汚染の原因と健康影響 ・大気にかかわる地球規模の問題						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
3	単元18	2	期末	【単元名】 水質汚濁・土壌汚染と健康 【目標】 ・水質汚濁，土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気，水，土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	・水質汚濁とその健康影響 ・土壌汚染とその健康影響 ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわり						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容						評価基準 （おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
3	単元19	1	期末	【単元名】 環境と健康にかかわる対策 【目標】 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。	・環境汚染の防止とその対策 ・産業廃棄物の処理と健康						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
3	単元20	2	期末	【単元名】 ごみの処理と上下水道の整備 【目標】 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。	・ごみの処理の現状 ・安全で良質な水の確保						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。
3	単元21	1	期末	【単元名】 食品の安全性 【目標】 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	・食品の安全性と健康 ・食品の安全性に関する今日的課題						【知識・技能】 ・健康問題に関して理解している。 ・健康的な生活様式を実施している。 ・自らの健康状態に気づいている。 【思考・判断・表現】 ・望ましいライフスタイルを立案している。 ・正しい知識を蓄積している。 ・客観的に自分の健康状態を分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者を尊重しようとしている。 ・集団討論等で協働的に課題を解決しようとしている。 ・健全な健康社会に貢献しようとしている。

令和7年度（2学年用）年間授業計画　都立農業高等学校全日制課程

教科	外国語	単位数	年間授業時数(予定：単位数×35時間)
科目	英語コミュニケーションⅡ	3	105時間

対象学年組　第2学年　1～5組

使用教科書　三省堂 VISTA English Communication Ⅰ、Ⅱ

科目：「英語コミュニケーションⅡ」の目標，評価方法

	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
目標	英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、内容を捉える技能を身につけ、事実や自分の考え、気持ちなどを書いたり話したりする技能を身につけている。	習得した英語の表現を用いて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や概要を捉えたり、事実や自分の考え、気持ちなどを表現している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。話し手・書き手・聞き手・読み手に配慮しながら、主体的に必要な情報を読み取ったり、考えを表現したりするなどして、英語によるコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	定期テスト（記述問題を含む） 小テスト ワークブック・ワークシート 英語マスターノート、基本ワーク	定期テスト（記述問題を含む） 小テスト ワークブック・ワークシート 英語マスターノート、基本ワーク 観察（学習状況、討論・発表など） 学習の振り返り	ワークブック・ワークシート 英語マスターノート、基本ワーク 観察（学習状況、討論・発表、行動観察、授業中の発言など） 生徒による自己評価や相互評価 学習の振り返り、定期テスト（記述問題を含む）

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域 聞	領域 読	領域 話（やり取り）	領域 話（発表）	領域 書	評価基準（おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
1	単元1	11	中間	【単元名】 [I] Lesson 8 Is There a Santa Claus? 【目標】 サンタクロースについて、理解して考えを深めることができる。 関係代名詞に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	関係代名詞、人を誘うときの表現	○	○	○		○	【知識・技能】 関係代名詞に関する事項を理解している。人を誘うときの表現の意味や働きを理解している。 サンタクロースについて、関係代名詞に注意しながら、内容を把握する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 サンタクロースについて、理解を深めるために、発表を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 サンタクロースや信念や人物当てについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
1	単元2	12	中間・期末	【単元名】 [I] Lesson 9 Kids' Guernica 【目標】 ゲルニカについて、理解して考えを深めることができる。 分詞・関係副詞に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	分詞、関係副詞、質問やメッセージに応答するときの表現	○	○		○		【知識・技能】 分詞／関係副詞に関する事項を理解している。ゲルニカについて、分詞／関係副詞に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ゲルニカについて、理解を深めるために、発表を読み取り、概要や要点を把握している。絵を描くことについて、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ゲルニカ／絵を描くことについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
1	単元3	12	期末	【単元名】 [I] Lesson 10 Ethical Fashion 【目標】 エシカルファッションについて、理解して考えを深めることができる。 比較に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	比較、環境保護の方策に関連した表現	○	○	○			【知識・技能】 比較の表現に関する事項や環境保護の方策に関連した表現を理解している。エシカルファッションについて、比較の表現に注意しながら、内容を読んだり書いたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ファッション／比較について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ファッション／比較について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしたりしている。

学期	通し番号	配当時数	定期考査範囲	単元名・目標	指導項目・内容	領域 聞	領域 読	領域 話すやり	領域 話すとり	領域 書	評価基準（おおむね満足できる評価基準(B)中心に記述）
2	単元4	18	中間	【単元名】 [II] Lesson 1 World Dance Performances 【目標】 さまざまな伝統舞踊の由来やパフォーマンスにこめられた意味について、理解して考えを深めることができる。 〈動詞+目的語+to不定詞〉〈疑問詞+to不定詞〉に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	〈動詞+目的語+to不定詞〉〈疑問詞+to不定詞〉、相手の発言を促す表現／文と文をつなぐ語		○	○		○	【知識・技能】 〈動詞+目的語+to不定詞〉と〈疑問詞+to不定詞〉の文構造に関する事項を理解している。さまざまな伝統舞踊について、不定詞の意味に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 さまざまな伝統舞踊について、基本的な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな伝統舞踊について、内容を主体的に読み取り、概要や要点を基本的な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えようとしている。
2	単元5	17	期末	【単元名】 [II] Lesson 2 A Piece of Cake 【目標】 英語と日本語の慣用句について、理解して考えを深めることができる。 疑問詞やifで始まる節に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	疑問詞やifで始まる節、協力などに感謝するときの表現／代名詞の意味や働き	○	○	○			【知識・技能】 疑問詞やifで始まる節に関する事項を理解している。英語と日本語の慣用句について、疑問詞やifで始まる節に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 英語と日本語の慣用句について、理解を深めるために、対話を読み取り、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 英語と日本語の慣用句について、理解を深めるために、対話を読み取り、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを伝えようとしている。
3	単元6	18	学年末	【単元名】 [II] Lesson 3 Quokka 【目標】 オーストラリアの有袋類の動物クオッカについて、理解して考えを深めることができる。 使役動詞、知覚動詞に関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	使役動詞、知覚動詞、結論をまとめる表現／文と文をつなぐことば		○	○	○		【知識・技能】 使役動詞と知覚動詞に関する事項を理解している。クオッカについて、使役動詞と知覚動詞に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 クオッカ／絶滅危惧種について、理解を深めるために、対話を読み取り、概要や要点を把握し、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを詳しく話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 クオッカ／絶滅危惧種について、理解を深めるために、対話を読み取り、概要や要点を把握し、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを詳しく話して伝えようとしている。
3	単元7	17	学年末	【単元名】 [II] Lesson 4 Designing Stamps 【目標】 玉木明さんへのインタビューについて、理解して考えを深めることができる。 形式主語itと形式目的語itに関する事項を理解し、必要な情報を把握したり考えを表現したりすることができる。	形式主語itと形式目的語it、より詳しく説明したいときの表現	○	○	○		○	【知識・技能】 形式主語itと形式目的語itに関する事項を理解している。玉木明さんへのインタビューについて、形式主語itと形式目的語itに注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 玉木明さんへのインタビューについて、概要や要点、必要な情報を、聞き取り、基本的な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 玉木明さんへのインタビューについて、概要や要点、必要な情報を、聞き取り、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを詳しく話して伝えたようとしている。